

大麦栽培情報

大麦の良し悪しは 播種までの排水対策でほぼ決まります

1 排水対策を徹底して行う

大麦を作付する圃場は、まず水稻収穫時点から暗渠の栓をとるなど排水対策を行います。排水対策がうまくできれば砕土が細かくなり、播種もうまくいき除草剤の効果も高くなります。

1) 作業の順序

額縁排水 → 弾丸暗渠 → 排水溝掘削

排水溝は、深さ幅ともに
25~30cm程度必要。
重粘質な圃場では耕盤層で不透水層を形成し滞水するのでさらに深い溝を掘るようにします。



2) 排水対策の手直し



稲作時から排水対策に努める。条件の悪いときに排水溝を掘ると轍（わだち）が残り排水が悪くなる。



排水溝に水を停滞させておくと、大麦が大きくなるに従い湿害が強くなり、正常に登熟せず収量・品質ともに低下する。



排水桝が溝より高い場合は、畦畔を切り排水する



溝が埋まったら手直しする



2 播種は土壤水分条件の良いときに、丁寧な作業を！！

播種適期 10月10日~20日（中山間地は1~15日）

土壤条件の良い日に、深く耕起し、砕土率を上げることで、生育が良くなります。また、除草剤も良く効きます。



播種量	条播の場合 6kg/10a (散播は8kg)		
適正播種量の目安	10月 1～9日播種	5kg/10a	
	10月10～15日播種	6kg/10a	
	10月 16日以降播種	7kg/10a	

◎ 条間は25cm以下が望ましい。(雑草対策、莖数確保)

3 除草剤の散布で収量向上を！！

雑草が繁茂すると肥料のほとんどが雑草にとられてしまい、収量が減ります。

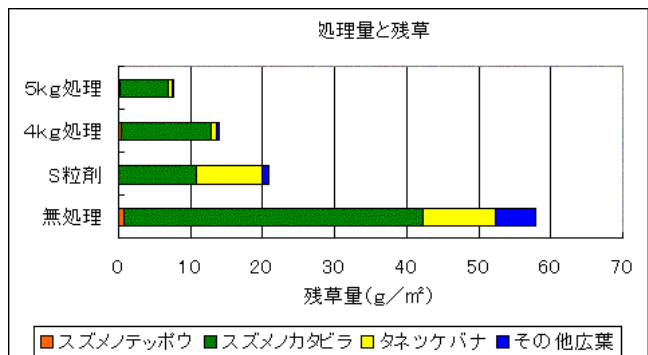
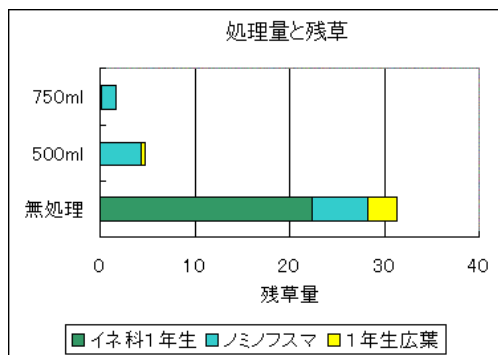
除草剤を効かせるポイントは

- ① 播種する時に碎土を細かくする
- ② 土壌が湿っている時に散布する(播種直後すぐに散布してしまう)
- ③ 除草剤の使用量を守る(散布不足にしないこと)
- ④ 優先雑草に効果の高い除草剤を使用する

1) 除草剤の使用方法

除草剤名	10a当り使用量	使用時期	注 意 点
ガレス乳	200～250ml (100ℓ 散布)	播種後発芽前 (雑草発生前)	
ガレスG(粒剤)	4～5kg	播種後発芽前 (雑草発生前) 大麦1～2葉期 (雑草発生前～発生始期)	散播の場合は、 大麦1～2葉期 の散布とする (薬害防止)
トレファノサイド乳	200～300ml (100ℓ 散布)	播種後発芽前	
ハーモニー細粒剤F	4～5kg	播種後～麦3葉期 (雑草発生前～発生初期)	

ガレス剤はトレファノサイドの成分に広葉雑草に効く成分が入っている。タネツケバナに効果が高い。また、ハーモニー剤はスズメノテッポウには効果が高いが、スズメノカタビラには効果がやや劣る。



ガレスの効果

左：農業試験場調査

右：カタログデータ (S粒剤は他の除草剤)

2) 除草剤使用の効果

雑草は春先から生長して目立つようになるが、生えてくるのは秋のうちからである。大きくなってから除草する方法はないので、播種直後の除草剤を適切に使って、越冬前の雑草発生を抑える必要がある。



除草剤を適切に使った場合と無使用の差（左：使用区、右：無使用区）

3) 南越管内の主な雑草

南越管内の大麦圃場に発生する雑草はスズメノカタビラ、スズメノテッポウが中心で、たいていはそのどちらか一方が多い。その他にタネツケバナが最近増えてきている。

スズメノカタビラ：淡緑色の草丈 20cm 程度の雑草が地表を覆うように広がる。



スズメノテッポウ：初めはスズメノカタビラに似るが、葉がやや細長く、紫色がかった色をしている。4月頃から急速に伸びて、独特の穂をつける。



タネツケバナ：アブラナ科で春に白い花を咲かせる。



4 収量を上げるには、肥料切れをさせないことが重要！！

ファイバースノウは、年内に肥料切れをおこして、黄化すると、莖数確保ができず、極端に減収するので、11月中旬～下旬にかけて年内追肥を必ず実施します。

基肥一括肥料を使用の場合、肥料切れをおこすことがないので収量・品質が安定します。また、寒い時に追肥する必要がなく省力的で、作業労賃も含めて考えると、コストは分施体系とほとんど変わりません。

1) 新大麦名人の成分

規格 15kg/袋

窒素	リン酸	加里
30.0	2.0	10.0

※ 昨年までの「大麦名人」と肥料の成分が変わっているので注意

2) 施肥体系

(10a当り)

施肥体系	基肥	年内追肥	越冬後追肥	穂肥ⅠⅡ
基肥一括	新大麦名人 40kg	なし	なし	なし
分施	高度化成444 または アラジン444 30~40kg	高度化成444 または アラジン444 20kg	高度化成444 または アラジン444 20kg	高度化成444 または アラジン444 15kg+15kg

※ 施用量は、各JAの施肥基準を参考にしてください。